



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 14
平成27年10月26日

実りの秋

《5年生 稲刈り・チャグリンフェスタ》

吉川利弘さんからお借りした吉川鉄工所前田んぼに、5年生が5月に植えた稲がみごとに実り、10月13日に稲刈りをしました。JA関係の方もたくさんいらして、昔ながらのノコギリ鎌を使い、また刈り取った稲は束ねて結び、という作業を教えてくださいました。コンバインの風景は遠くから見て知っていた子どもたちも、自分の手で稲刈りをするのは初体験のものが多く、キャツ、キャツとはしゃぎつつ、稲を刈っていきました。JA婦人部の方もいらして、おいしい塩結びも作ってくださいました。新米を、塩だけで味わうのも、お米本来の味が伝わってきて、なかなかなのです。下大野のお米は、土がよく、水がよく、格別おいしいです。

刈り取った稲は、結ばれたまま軽トラに積み渡里のJA水戸那珂川ライスセンターに運ばれ、10月21日、チャグリンフェスタで、5年生が自分たちの手で、昔ながらの千歯こきで脱穀し、足踏み唐箕を使い、きれいな粃にしました。

田園風景は見慣れている子どもたちですが、どのような工程を経て、目の前のご飯のお米ができるかは、なかなかわからないものです。それらを実際に目の前で見ることは、貴重な勉強でした。チャグリンフェスタには下大野のお父さん方の姿が多く見られ、子どもたちに丁寧に教えてください、下大野の農業のパワーも感じられたと参加した職員が言っていました。本当に、お世話になりました。



《1・2年生 芋ほり・秋の公園探検》

10月22日、5月に植えた学校の畑のサツマイモ堀をしました。この日もJAの方が沢山学校に来てくださり、畑の蔓切りをし、芋が掘りやすいように準備をしてくれました。芋ほりはまさに宝探しのよう。見つけると大歓声。「とっただー!!」とか「先生、先生みてくださーい!!」など、大騒ぎの芋ほりになりました。どんなふうにサツマイモが地面の下で成長し、どのように芋がつながっているのか、間近に見ることができました。

10月22日、今度は生活科の勉強で、秋の公園に「秋探し」に行きました。場所は雲井建築、雲井勇さんのご厚意で、茨城町の若宮にある手作りの公園に行きました。大きな滑り台、シーソー、タイヤの遊具等もあり、子どもたちは大はしゃぎ。叢ではコオロギやバッタ、カマキリなども発見しました。栗やドングリ、秋の色の葉っぱ等も採集しました。焼き芋や綿あめなどもごちそうになり、これまた楽しい楽しい一日になりました。

下大野ふるさと自慢

ぼくのふるさと自慢 5年 大和田 歩夢

ぼくのふるさとで自慢したいことがいくつかあります。

一つ目は、おいしいお米が沢山とれることです。ぼくのふるさとはいなかで田んぼが多いです。だから毎年おいしいお米がたくさんとれます。毎年お米に困ることがなく、おいしいお米が食べられてとても幸せです。

また、田んぼが多いことを生かして、ほかの地域ではない田んぼアートというものをやっています。田んぼアートとは、色のついた苗を植えてそれが育つと田んぼに絵を描いたようになることです。今年は去年とは違い、絵が増えました。その絵は、水戸のマスコットキャラクターの一水戸ちゃんや偕楽園等が描いてありました。来年はどのような田んぼアートになるのか楽しみです。

二つ目は、お祭りです。毎年、ぼくの地域では天王祭というお祭りをやっています。毎年、だしとおみこしが出ています。だしは、子どもたちと大人で引きます。だしの中には太鼓、大太鼓などをやる人が乗っています。太鼓や大太鼓などは交代でやります。お神輿は重いので、4から6年生と大人でやります。これも交代でやります。疲れるけれど、みんなで協力し合ってやるので、とても楽しいです。お母さん方が熱中症にならないように気遣ってくれます。毎年人数は少ないけれどみんなで力を合わせて頑張っているの、ぼくの地域のお祭りは日本一楽しいと思います。

ぼくの地域には、もっとたくさんの自慢したいことがあるけれど、来年はもっとたくさん、数え切れないほど自慢できることが増えるようにがんばりたいです。みなさんぜひ、田んぼアートや天王祭を見に来たりおいしいお米を食べに僕の地域に来てみてください。

ぼくの家のお米 6年 吉川 朋輝

ぼくの家は農家で、お米をたくさん作っています。田んぼの広さは50ヘクタールもあるそうです。ぼくには想像もつかない広さです。作っているお米の種類はコシヒカリ、秋田こまち、チヨニシキ、ゆめひたち、まんげつもちの5種類だそうです。

3月の末から種まきが始まります。まいた後は育苗機というところに入れて芽を出します。3日ぐらいで芽が出るのでその後はビニールハウスへ移し苗を育てます。3週間ぐらいかかるそうです。苗が育つまで代かきをしたりして田植えの準備をします。4月の末ごろから田植えが始まります。ぼくも種まきの手伝いをしたことがあります。1回に600枚ぐらいのすごい数をまき、それを10回ぐらいやるのですごい量だと思います。

田植えが終わってからもおいしいお米になるように薬をまいたり、水切りをしたり、草刈りをしたりと仕事があります。また、水がなくなならないように朝、夕に全部の田んぼを見に行っています。夏の気温が高くても仕事をしているので、熱中症にならないかいつも心配です。休みなく働いているので、すごいなと思います。一生懸命に世話をしているからおいしいお米ができるのだと思いました。

1番最初にあきたこまちを刈り、1番最後がもち米です。コシヒカリは、みんなが食べる一般的なお米で、粘り気があります。あきたこまちは、コシヒカリよりさっぱりしています。チヨニシキは、少しばさばさしているので、ほかのお米と混ぜ合わせるとおいしく食べられます。ゆめひたちは、奨励品種で、学校の給食に使われています。まんげつもちはおもち米の種類で、お餅を作るのに使うお米です。

ぼくは白いご飯が大好きです。おにぎりは炊き立てのご飯で握ったおにぎりが最高です。今年も、もうそろそろおいしいお米ができます。おいしいご飯が食べられると、今からワクワクでとても楽しみです。そして、いつもおいしいお米を作ってくれるおじいちゃん、おばあちゃん、おとうさんに感謝です。ありがとうございます。

ぼくもいつの日か、おじいちゃん、おとうさんといっしょに、おいしいお米を作りたいです。

